

# 寺内町新聞

発行元：久宝寺寺内町まちづくり推進協議会・NPO法人寺内町久宝寺  
久宝寺寺内町まちづくり推進協議会会長・NPO法人寺内町久宝寺理事長 田中 良明  
〒581-0072 大阪府八尾市久宝寺3丁目3-2 072-924-6371

**4月からNPO法人寺内町  
久宝寺がまちなみセンター  
の指定管理業務をスタート**

久宝寺寺内町まちづくり推進協議会（以下推進協）の役員で立ち上げたNPO法人寺内町久宝寺で八尾市まちなみセンターの運営管理を受託するにともない、同センターの館長及び推進協・NPO法人寺内町久宝寺の事務局長に畠一男さんが就任され、その経緯と今後の抱負を話していただきました。

「春まだ遠い2月の下旬、当時は近鉄八尾駅近くで昼のカラオケ喫茶を運営していた私の携帯に電話が鳴りました。電話の主は推進協の田中会長で、この4月から『NPO法人寺内町久宝寺』が同センターの運営管理を受託するについて、館長候補として面接したいと。これが今の業務に携わるスタートでした。

無事面接も済み採用となつたものの、永年市役所に勤めていたので植野前々館長や根木前館長の時代に何回か訪ねたことはありました。が、当時はここにお世話をになるとは思いもよませんでした。

前置きはこれぐらいにして、指定管理業務は私のほか女性3人の計4人体制でスタートしました。運営そのものは、田中会長と役員の皆様のご協力もあって同センター最大の行事である燈路まつりも無事に終えるなど順調に進めてこれましたが、市からはNPOに移行した成果を挙げるよう

にとはっぱをかけられています。まだまだ、NPO法人としての知名度は地域では低い状況にありますので、役員とともに職員一同力を合わせ寺内町の発展と利用者の利便向上に努めてまいる所存であります。

何卒、地域の皆様方の暖かいご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。」と話しました。

## 第6回

### 燈路まつりを開催

平成26年9月7日（日）燈路まつりが河内音頭まつりと同日開催され、約5500名の方が寺内町に来訪くださいました。燈路まつり担当の近藤理事は「顕證寺・許麻神社・念佛寺・発願寺・幼稚園・保育園・小学校・中学校。また、福祉委員会・各団体・八尾市のご協力のおかげと感謝申し上げます」と話しました。

燈路まつりは、5月から準備にかかり、市・警察・各団体との協議・要請・許可申請・木製燈籠の製作を行いました。また、カツブ燈籠は幼稚園・保育園・小学校へお願いして絵の書き入れを、近畿大学とは光の回廊の打合せを順次行い、配置計画の検討等の会議を行いました。ボスター作成は広報が担当し、まちなみセンター研修室で季節毎に展示してください

ただきました。多方面から「今回のボスターはシンプルでセンスが良いですね」とお褒めいただきました。

実行委員会の立ち上げから全体会議を経て、大勢の方のご協力で当日は晴天に恵まれ盛大に開催できました。オープニングセレモニーには大坂の陣400年の甲冑隊も参加して独特の雰囲気の中、大阪府知事・八尾市長のご挨拶があり「燈路まつりが周知、定着してきました」と述べていただきました。

今後について同理事は「当日のアンケート調査や後日の反省会のご意見やご感想を活かして、皆様に喜んでいただける三世代交流の燈路まつりになるようチャレンジ精神で新しいことも行っていきたいと思います。何卒、次年度もご支援・ご鞭撻をお願い申し上げます」と話しました。



燈籠に点火、オープニングセレモニーの様子

# 鹿威しにひと苦労

ああ～しんどかった！ハッハッハッハ～

燈路まつりの一環として、近大生の提案で水路に鹿威しを製作し、水路の中心に7基置くことになりました。

その製作を大工仕事をされてる山分監事におねがいしました。同監事は「水桶を作り、汲みあがる水の量と放水の量があわないと鹿威しの竹の筒に上手く入らなかつたり、川の上に設置するため、石の重さを利用して1基づつ設置する等いろいろな問題を解決して出来上がった鹿威し」9月7日「1日だけの鹿威し」準備、製作、試運転に約1ヶ月かかりました」と話しました。



完成した鹿威しの様子

ら木桶は杉の無地板が使用されていましたね。」と苦笑い・・・。大変ご苦労様でした。

## 神に捧げる音響け高らかに

燈路まつり イン 許麻神社

今年度は、久宝寺保育園、まぶね保育園園児の、とても可愛らしい絵カットをはじめ約180基が顕證寺の鐘と同時に点火され、また布団太鼓、神輿がライトアップされる中、境内中央の舞台（総代有志制作）にて雅桜

内中央の舞台（総代有志）と、さくら会（巫女）による神楽舞が行われました。「雅楽を習得するのは大変ですが今後とも努力し、神楽舞を盛り上げたい」と推進協員で許麻神社総代副会長の田村直樹さんは話しました。



400年の甲冑隊の人びとが水路の横通り、まちなみセンターライブ、神楽舞が行われました。田村直樹さんは話しました。



## 新たな取り組み

燈路まつり初の「交流ブース」を開設

第6回燈路まつりを迎えるに当たり、今年からNPO法人寺内町久宝寺の新し



顕證寺・念佛寺・発願寺で光の回廊

伝灯のもしびを次の世代へ寺内町の三ヶ寺の境内に燈籠を並べ、幻想的な光の回廊を来訪者の方々に楽しんでいただきました。

推進協員でもある顕證寺の近松善孝さんは「顕證寺では、ライブ・舞楽法会（声明と雅楽と舞）・百花繚乱（声明×弦×

華×舞の「ラボレーーション」・屋台・映像作品上映などが行われました。

まつりを通じて普段参拝にご縁がなかった方々がたくさんお越し下さり、約500年の歴史に直接触れ、楽しんでいた機会に貢献できました事を大変ありがたいと感じています。

今後も、寺内町三ヶ寺・また地域の皆さんと共に伝統の灯火を守り続けてまいりましょう。」と話しました。



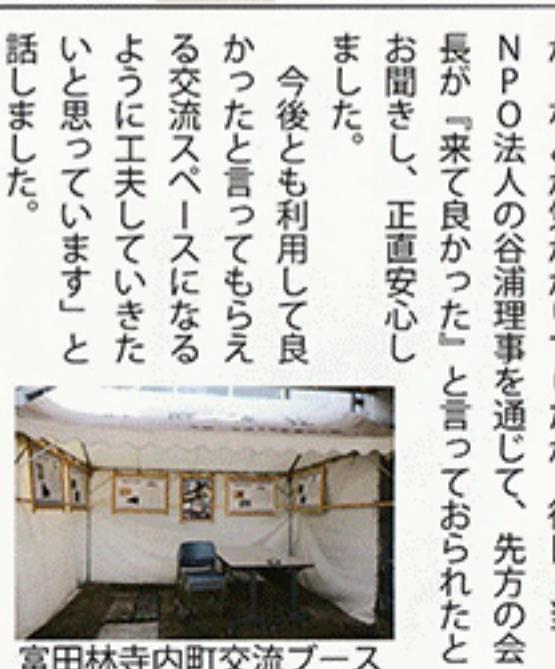
顕證寺・念佛寺・発願寺で光の回廊

い取り組みとして、まちなみセンター駐輪場を活用して、久宝寺以外の他の地域や団体との交流を目的としたブースを設けることになりました。

初回は、昔から交流がある富田林寺内町の「守り・育てる会」の皆さんに声を掛け並びに八尾市施設の利用基準をお伝えするとともに、先方の希望もお尋ねしました。

当日、燈路まつりも慌ただしく終わり、NPO法人の谷浦理事を通じて、先方の会長が「来て良かった」と言っておられたとお聞きし、正直安心しました。

今後とも利用して良かったと言つてもらえた交流スペースになるように工夫していくべきだと思つています」と話しました。



富田林寺内町交流ブース

# 大水路に魚を！！

## ご挨拶

久宝寺寺内町  
まちなみ推進協議会会長

田中 良明

## 寄稿

特別顧問  
高垣 匡徳

久宝寺寺内町今昔

富山 喬三

お速夜市の様子



寺内町を南北に流れる大水路。昨年よりここに魚をと、様々な取り組みが行われてきました。金田理事は、「中之町通り付近で土のうを積み、水量を確保し、金魚を放流しましたが水面に油膜が張り失敗しました。今回は、大手町通り付近で大工さんの工夫により小さめの堰を作り、水量を確保し錦鯉の稚魚を9月1日に放流しました。1ヶ月以上たましたが、元気に泳いでいます。又、鷺等の被害防止のため金網を被せており、将来は魚ゾーンとして散歩道にふさわしい水路にしたいと思つています。」と話しました。

常日頃は、久宝寺寺内町まちづくり推進協議会並びにNPO法人寺内町久宝寺に心寄せ賜り誠にありがとうございます。平成26年度4月から八尾市まちなみセンターを、私たちNPO法人寺内町久宝寺が自主管理する指定管理業務がスタートし7ヶ月が経過しました。皆さまのご協力で何とか進めさせていただいております。その間に総会、燈路まつり、昔の道具展等に大勢参加いただきありがとうございました。当会の役員の皆さんは、理事会や役員会で話し合い、知恵を絞り、労力を惜しまず、「地元のために！」また「住み続けたいまち」、「愛着の持てるまち」を目標に活動をして参りました。今後ともどうかご協力・ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

特に第6回燈路まつりには各方面の皆さまのご協力で回ごとに充実していることに感謝申し上げます。また、反省点もいくつかあります。その間に総会、燈路まつり、昔の道具展等に大勢参加いただきありがとうございました。

当会の役員の皆さんは、理事会や役員会で話し合い、知恵を絞り、労力を惜しまず、「地元のために！」また「住み続けたいまち」、「愛着の持てるまち」を目標に活動をして参りました。今後ともどうかご協力・ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

常日頃は、久宝寺寺内町まちづくり推進協議会並びにNPO法人寺内町久宝寺に心寄せ賜り誠にありがとうございます。平成26年度4月から八尾市まちなみセンターを、私たちNPO法人寺内町久宝寺が自主管理する指定管理業務がスタートし7ヶ月が経過しました。皆さまのご協力で何とか進めさせていただいております。その間に総会、燈路まつり、昔の道具展等に大勢参加いただきありがとうございました。

当会の役員の皆さんは、理事会や役員会で話し合い、知恵を絞り、労力を惜しまず、「地元のために！」また「住み続けたいまち」、「愛着の持てるまち」を目標に活動をして参りました。今後ともどうかご協力・ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

特に第6回燈路まつりには各方面の皆さまのご協力で回ごとに充実していることに感謝申し上げます。また、反省点もいくつかあります。その間に総会、燈路まつり、昔の道具展等に大勢参加いただきありがとうございました。

当会の役員の皆さんは、理事会や役員会で話し合い、知恵を絞り、労力を惜しまず、「地元のために！」また「住み続けたいまち」、「愛着の持てるまち」を目標に活動をして参りました。今後ともどうかご協力・ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

常日頃は、久宝寺寺内町まちづくり推進協議会並びにNPO法人寺内町久宝寺に心寄せ賜り誠にありがとうございます。平成26年度4月から八尾市まちなみセンターを、私たちNPO法人寺内町久宝寺が自主管理する指定管理業務がスタートし7ヶ月が経過しました。皆さまのご協力で何とか進めさせていただいております。その間に総会、燈路まつり、昔の道具展等に大勢参加いただきありがとうございました。

当会の役員の皆さんは、理事会や役員会で

# 歴史探究をお手伝い

「もっと知りたい！」歴史あるまち久宝寺

ボランティアガイドは、久宝寺を訪れる方々の案内を行つておらず、発足して早や半年になります。最近は来訪者も多く訪れて利用してくださっています。

綺麗なまちなみと、顕証寺を中心として発展した歴史あるまちということが久宝寺寺内町の特長です。また、来訪者の多くが興味をもたれるのが、今はなき久宝寺城です。廃城巡りをされる方々の多いことに驚かされます。

ボランティアガイドの谷浦理事は「実は

私も久宝寺城と安井一族に興味を持つています。どなたか久宝寺城に詳しい方がおられましたらお教えいただきたいと思いますので、ぜひ一度まちなみセンターにお越しください」と向上心を燃やし、「皆様方が久宝寺のどこに興味があるのか、このまちの未来の姿に关心を持っていたとき、よければまちなみセンターにご意見をください。よろしくお願いします」と要望。



ボランティアガイド予定

よしみ会（豊中）

久宝寺小学校（6年生）

11月22日（土）歴史散歩の会  
11月22日（土）レスター・シニア・クラブ  
11月20日（木）久宝寺駅前に寺内町への案内看板の設置が校区まちづくり協議会で了承されました。

JR久宝寺駅前に寺内町への案内看板の設置が校区まちづくり協議会で了承されました。

近年、他の地域から久宝寺寺内町への来訪者が増加している中、人に優しいまちづくりの観点からJR久宝寺駅に寺内町への案内看板の設置が必要と考え、校区まちづくり協議会に提案しました。

今後は随時、寺内町の入り口や歴史遺産や名所への案内看板の設置を校区まちづくり協議会、市の関係部署と協議しながら進めたいと思います。また近鉄久宝寺口駅にも案内看板の設置を考えていきます。

## ほつとステーション

### もっと ほつとステーション

校区まちづくり協議会主催の「ほつとステーション」を楽しみにされている方も増え、多い日には80人以上の方がこられていました。福祉委員会の津川委員長のマジックや長生園の方々との寸劇。また三味線演奏にフラダンス等、皆さん得意の芸を披露していただき、毎回お客様も一緒に楽しんでおられていました。おこなわれた企画をして欲しいなどなど、ございましては是非お知らせください。毎月、第3

日曜日午前9時30分より、まちなみセンターでお待ちしております！」と横山久美子さん、笑顔いっぱいで話していました。

ほつとステーション開催予定  
11月16日（日）午前9時30分より  
12月21日（日）午前9時30分より  
(クリスマスイベント)

## 役員紹介

### 久宝寺寺内町まちづくり推進協議会



おいしいコーヒーと楽しい時を過ごす皆さん

（クリスマスイベント）

まちなみセンターの部屋、借りれます。

まちづくり活動をしていくための会議室・研修室を備えています。詳細はお問い合わせ下さい。まちなみセンター  
☎ 072(924)6371

### 貸し部屋料金表

	研修室	会議室(洋室)	会議室(和室)
午前 9:00～12:00	¥1,500-	¥400-	¥300-
午後 13:00～17:00	¥2,000-	¥450-	¥400-
夜間 18:00～22:00	¥2,000-	¥450-	¥400-
全日 9:00～22:00	¥5,500-	¥1,300-	¥1,100-

## 行事予定とお知らせ

展示室はご自由にお入りになれます。

・11月29日（土）株式会社クボタによ

る地域貢献清掃  
・年末年始について  
12月29日（月）～1月3日（土）は休館致します。新年は4日（日）より開館です。

## 編集後記

寺内町新聞は、広報部の取材を基に久宝寺寺内町のまちづくりを中心に、地域のさまざまな情報を発信していきます。